

地元出版社団体と図書館が共同で行ったデジタルコンテンツの創造 ～地元出版社等を母体とした団体との連携～

札幌市中央図書館(北海道札幌市)

URL: <https://www.city.sapporo.jp/toshokan/>

テーマ

図書館と書店等が連携して行う特色ある読書活動・行事

取組概要

- ・地域発のデジタルコンテンツの普及をめざす団体の設立のきっかけづくり、活動への協力
- ・デジタルコンテンツを活用したサービスの提供

取組詳細

札幌、北海道の出版社が、一般社団法人北海道デジタル出版推進協会(HOPPA)を設立し、北海道の電子出版を推進する母体を形成している。当館では、以下の連携した取組を行っている。

■ HOPPA設立のきっかけ

平成23年度に札幌市中央図書館が行った電子図書館の実証実験に参加した出版社のうち11社が母体となり、地域発のデジタルコンテンツの普及をめざすHOPPAが設立された。図書館と連携した活動も行われており、セミナーなどを協力しあって開催し、地域の出版文化の振興に連携して取り組んでいる。

■ デジタル絵本の読み聞かせ動画の制作と配信

コロナ禍の休館の際に始めた取組で、デジタル絵本の画像データにパワーポイントで図書館職員が声を吹き込んで動画化したものを市役所の公式YouTubeチャンネルに公開している。

通常は出版社に許諾を取らなければならないが、HOPPAから人気の「おぼけのマール」シリーズを含む、札幌や北海道に関連した15作品の画像データが提供され、読み聞かせ動画を制作した。

■ 「北海道デジタル絵本コンテスト」への協力

令和3年度からHOPPAが地域発デジタルコンテンツの普及活動の一つとして開催しているデジタル絵本コンテストの受賞作品を札幌市電子図書館に所蔵している。また、作品の選考への協力や、受賞発表会で図書館職員が受賞作品を読み聞かせるなどの協力を行っている。



読み聞かせ動画の制作の様子



デジタル絵本コンテスト発表会

基本データ

(数値は令和5年現在)

住所 北海道札幌市中央区南22条西13丁目

人口 (図書館が所在する市町村)

196万人

職員数(うち有資格者数)

94人(39人)

蔵書数

約 87万冊

※人口以外のデータは中央図書館

取組の成果と今後

・HOPPAの設立は全国でも珍しい、地域の出版社が一丸となって取り組んだ先例となった。

・出版社にとっては、書籍の電子化により全国の図書館にも販路が広がった。

・札幌や北海道に関連した絵本の読み聞かせ動画の配信は、令和6年2月末現在で11,000回を超える再生回数となっており、子どもの読書活動の推進に貢献している。

・今後も、図書館とHOPPAが地域の出版文化の振興に連携して取り組んでいきたい。